PART2　不可能

二　「不可能（＝～できない）」の形

①　**不可**V＝V〔終止形〕**ベカラず**（許可）

（例）　**不可**出。（　　　　）（　　　　）

②　**不能**V＝V〔連体形〕（コト）**あたハず**（能力）

（例）　**不能**隠。（　　　　）（　　　　）

③　**不得**V＝V〔連体形〕**ヲえず**（機会）

（例）　**不得**撃。（　　　　）（攻撃する　　　　）

※「不得」の下が体言であれば、「体言が手に入らない」という、普通の動詞「得」＝「手に入る」の否定。

（例）　不得薬。〔薬を得ず。〕（薬が手に入らない。）

問三　「不得視」の解釈として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　たちまち消えてしまった。
イ　見ないわけにはいかなかった。
ウ　見ることができなかった。

問四　「不レ能ルレ得ハ也ル。」を現代語訳せよ。

問五　「不能帰。」をすべて平仮名で書き下し文にせよ。現代仮名遣いを用いてもよい。

問六　「不レ能三与レ君陥二於難一。」を書き下し文にせよ。

第7講　PART2　確認問題

①「深不可測也。」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　推測することは決してない。
イ　推測することは簡単だ。
ウ　推測することができない。
エ　推測しないわけにはいかない。

②「弗能謂也。」をすべて平仮名で書き下し文にしたものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いふあたはざるなり。
イ　いふのうなきなり。
ウ　いふあたふにあらざるなり。
エ　いふのうせずなり。

③「眸子（ぼうし）不レ能ハレ掩（おほ）フコト二其ノ悪ヲ一。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ひとみはその人の悪を覆い隠すべきではない。
イ　ひとみはその人の悪を覆い隠すことはできない。
ウ　ひとみにその人の悪を覆い隠す能力はない。
エ　ひとみにその人の悪を覆い隠せないことはない。

④「有兵、守関。不得入。」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　入らないわけにはいかない。
イ　人員が手に入らない。
ウ　入ることができない。
エ　決して入ってはいけない。

⑤「不レ可レ奪レ志也。」をすべて平仮名で書き下し文にしたものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　こころざしはうばふことかならずや。
イ　こころざしをうばふにあらざるなり。
ウ　こころざしはうばふことあるべきや。
エ　こころざしをうばふべからざるなり。

第７講　PART2　解答

二
①〔出づべからず。〕（出ることができない。）
②〔隠す（こと）能はず。〕（隠すことができない。）
※〔隠るる（こと）能はず。〕（隠れることができない。）でも可。
③〔撃つを得ず。〕（攻撃する**ことができない**。）

問三　ウ
問四　得ることができないのである。
問五　かえ〔へ〕る（こと）あたわ〔は〕ず。
問六　君と難に陥る（こと）能はず。

第7講　PART2　確認問題　解答

〈解説〉

① 「不可〜」は「〜ベカラず」と読み、「〜できない」という意味。よって、ウが正解。

② 「弗（＝不）能〜」は「〜（コト）あたハず」と読む。断定「也」が続くので、「ず」は「ざル」となる。よって、アが正解。

③ 「不能〜」は「〜（コト）あたハず」と読み、「〜できない」という意味。よって、イが正解。

④ 「不得〜」は「〜ヲえず」と読み、「〜できない」という意味。「不得」の下が体言であれば、「〜が手に入らない」という意味である。ここでは「入る」という動詞なので、「入ることができない」となる。よって、ウが正解。

⑤ 「不可〜」は「〜ベカラず」と読む。よって、エが正解。

〈解答〉

① ウ　② ア　③ イ　④ ウ　⑤ エ